

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先)川崎市長

郵便番号 210-0865
 住 所 川崎市川崎区千鳥町10-2
 氏 名 日本合成樹脂株式会社
 代表取締役社長 原田 耕治 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本合成樹脂株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町10-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)
主たる事業 の内容	石油樹脂製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,306 kl
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	日本合成樹脂株式会社 製造グループ
		所在地	川崎市川崎区千鳥町10-1
		電話番号	044-288-5031
		FAX番号	044-299-0290
		メールアドレス	

※受 付		※特 記	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	平成25年度 ~ 平成27年度																				
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式1号のとおり																				
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式1号のとおり																				
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式1号のとおり																				
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式1号のとおり																				
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式1号のとおり																				
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式1号のとおり																				
備 考	<p>第一期のエネルギー量及び排出量についても次のとおり修正する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第一期</th> <th>基準値 (H21)</th> <th>第1年度 (H22)</th> <th>第2年度 (H23)</th> <th>第3年度 (H24)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原油換算：kl</td> <td>2,561</td> <td>2,504</td> <td>2,478</td> <td>2,307</td> </tr> <tr> <td>排出量（固定）：t-CO2</td> <td>5,045</td> <td>4,902</td> <td>4,811</td> <td>4,520</td> </tr> <tr> <td>排出量（反映）：t-CO2</td> <td>-</td> <td>4,842</td> <td>4,772</td> <td>4,152</td> </tr> </tbody> </table>	第一期	基準値 (H21)	第1年度 (H22)	第2年度 (H23)	第3年度 (H24)	原油換算：kl	2,561	2,504	2,478	2,307	排出量（固定）：t-CO2	5,045	4,902	4,811	4,520	排出量（反映）：t-CO2	-	4,842	4,772	4,152
第一期	基準値 (H21)	第1年度 (H22)	第2年度 (H23)	第3年度 (H24)																	
原油換算：kl	2,561	2,504	2,478	2,307																	
排出量（固定）：t-CO2	5,045	4,902	4,811	4,520																	
排出量（反映）：t-CO2	-	4,842	4,772	4,152																	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

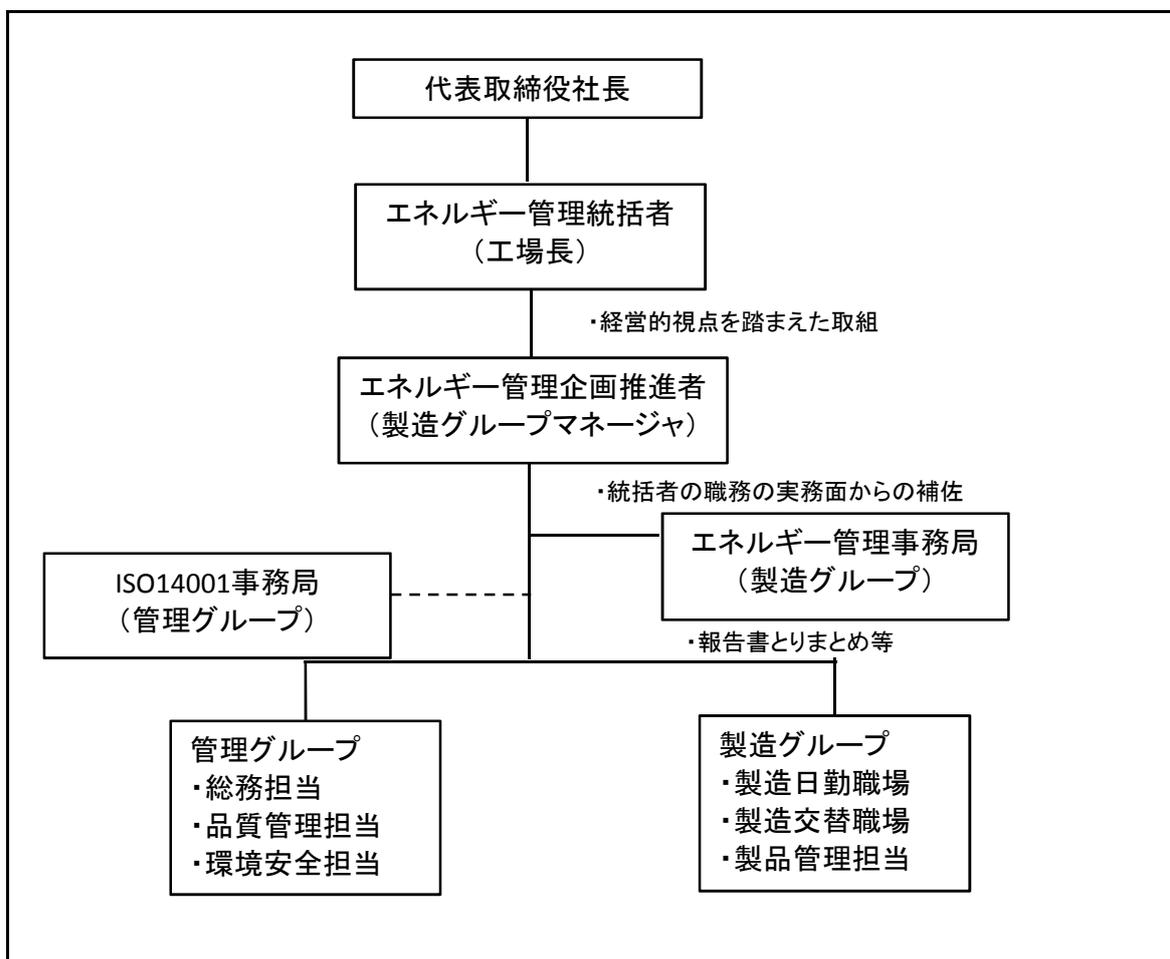
1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

次の【環境方針】より積極的な地球温暖化対策を進めている。

【環境方針】

- ◆環境に関する法律・規則・協定を順守し、環境保全に努める。
- ◆継続的な環境改善と汚染の未然防止に努める。
- ◆石油化学製品等の生産活動において、省エネルギーの推進、廃棄物の削減を図る。
- ◆京浜コンビナートに位置することを考慮し、周辺地域との協調・共生に努力する。
- ◆本方針遂行のため、環境目的及び目標を設定し、維持し、見直しをする。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成24年度	目標年度	平成27年度
基準排出量	(実) 4,152 (調) 4,152	t-CO ₂	(実) 5,316 (調) 5,316
削減率	(実) -28.0 (調) -28.0	%	(実) -1,164 (調) -1,164
		削減量	t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	生産数量	単位	kl/t
基準年度の値	0.2271	目標年度の値	0.2204
削減率	3.0	%	
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

販売数量中長期計画において基準年度（平成24年度）より生産量を30%増加させる計画を策定した。温室効果ガス発生量としては増える試算となっているが、目標設定するにあたりエネルギーに起因する原単位の値を年平均で1%削減することを前提に温室効果ガス削減目標とした。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<p>(1) 熱交換器 (プレヒーター) に温度計設置 U 値管理の仕組み確立</p> <p>(2) 放熱防止のための、運休時のスチームトレース停止</p> <p>(3) 熱媒配管及びプロセス配管保温材不具合箇所の計画補修</p> <p>(4) 事務所移転に伴う空調設備 (エアコン) 高効率仕様の設置</p> <p>(5) 事務所移転に伴う照明設備 (LED 化) 仕様変更</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生可能エネルギー源等の利用は実施していない。
 加熱炉の排熱回収、蒸気温水の利用等の検討項目はあるが、敷地、設備投資等の問題から見送りとなっている。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

- (1) 毎月実績検討会によるエネルギー原単位の検証確認の実施 (平成22年度)
- (2) 熱量負荷に応じたメインバーナー交換運転及び燃焼燃料にあった空気比管理標準の設定 (平成22年度)
- (3) 加熱炉回りの断熱材更新 (平成22年度)
- (4) 加熱炉本体の放熱防止塗装実施 (平成23年度)
- (5) 熱媒配管保温不良個所の補修実施 (平成24年度)
- (6) スチームトラップ点検(1回/年)実施及び仕組み化 (平成22年度)
- (7) エアコンフィルター定期清掃(1回/月)及び温度管理仕組み化 (平成22年、23年度)
- (8) 変電所更新(高効率変圧器への更新) (平成22年度、23年度、24年度)
- (9) 減圧ポンプ更新 省電力タイプ (22kwh⇒3.7kwh) (平成22年度)
- (10) 主要設備等の管理標準の見直し・改善 (平成23年度)
- (11) 変電所更新に伴う、MCC盤更新し単相負荷の管理実施 (平成24年度)

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- (1) 一般廃棄物の削減
紙管理記録の電子化
- (2) 産業廃棄物の削減
ろ過機の乾燥不良（油分回収不良）対策の検討
（2010年度実績対比…対製品生産量原単位2.0%削減）
- (3) 不合格品発生量原単位の削減
 - ① 銘柄切替時の端切品（中間排出）時間の見直し
（時間のクリティカルとなる設備の仕様見直し）
 - ② 工程内端切品（ファイバードラム）発生量の削減
 - ③ 最終製品における不合格品発生量の削減
- (4) 森林保全活動（ENEOSみらい森活動）への参加

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	4,152	t-CO ₂
(調)	4,152	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本合成樹脂株式会社	川崎市川崎区千鳥町10-1	1635	プラスチック製品製造業	4,152 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k _l 未満	
300～400k _l 未満	
200～300k _l 未満	
100～200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--